

あまでうす

（景觀に地域らしさを見つづける）くかかみがはらの風景、自然の美しさと緑が多存在する各務原市。その市内から、建築物としての評価も高く、地域の自然風土や歴史文化、人々の営みや生活が、周囲に溶け込んでいく姿であること。それを満たしている景觀に、適している建築物の発表会『まちづくりシンポジウム』に行つてきました。今回、選ばれたのは五方所。どれも現代建築という趣であつたが、その中に私財を投じて昭和八年（一九三三）に、日本の女優第一号といわれる川上貞奴が建立した「貞照寺」が含まれていました。この間のウォーク

ング大会で訪ねた所である。もしかして、主催者側がこの発表を見越して「貞照寺」をコースに入れていたのではないかと勘ぐつてしまふ。またここには、木曾川を眺望する所に建てられていく「萬松園（ばんしょうえん）」という、これも貞奴が建立した別荘もある。
（あたりまえと思つている景觀を言葉に置き換えてみる）

くまでも個人的観点に立つての景觀である。村国男依（むらくにのおより）を祀る「村国神社」。そこに隣接する重要有形民俗文化財に指定されている「村国座」……
ここは、小学生時代に友達三々四人で、いつも暗くなるまで遊んだところである。また、歌舞伎などがある、親が近所の人を誘つて連れて来られよく観ていたが、こどもに解かるうはずはなかった。

い。ここで、二回はどクラシックとジャズ・コンサートを聴いたことがある。中山道鶴沼宿の街並み……江戸時代、旅籠だった建物が数件と、脇本陣や古墳のある二の宮神社、町屋館などが建ち、古色蒼然とした佇まいを残しており、春と秋には祭りが開催される。「坊の塚古墳」……市内で一番大きな規模の古墳で、最近、発掘調査が行われ、現地説明会を聴きに行ったところである。「加佐美神社」……ここも登録有形文化財に登録されている。本殿や拝殿の中を見学できる特別な日もあり、何度か見ている。また、神社周辺の史跡をめぐるウォークも参加している。そのコースには、曾我

倉山田石川麻呂に連する「山田寺（さんでんじ）」もある。というように、まだまだあるが列記すると切りがない。
（地域の持続性……風景のまとまりを保つ）
季節に応じた周辺の環境を演出し、市井の人々の憩いの場であり、歴史的建造物から、若者たちが、いかにして守るべき環境を育て守ることが大切であらう。また未来に向かつて、地域の経済活動の必要が都市空間を変えていくことあろう。ということ、は、不易流行の理も考えておかなければならない。

風地蔵新聞

第159号
発行 編集 風地蔵 白石 美帆
〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85
ご感想・エッセイ・俳句・おちまセ・歌りなどお便りして

再会

大橋 美紀

ある日、私は週に3回は行くスーパーに立ち寄った。自宅から車で5分、朝7時から夜10時までやっている。知人や近所の人もよく行かれますが、行く時間が朝だったり閉店間際だったり決まっていなくて、店内も広いので、全く会わない人がいても不思議ではないのです。その日、入り口からティッシュ売り場に直行し、さっと帰る予定でし

た。すると、同級生の姿を見つけた。さつとそばに行き「いや〜久しぶり〜」と声をかけた。彼女は「美紀〜」とわたしの名を言った。高校のクラスメイトで、23年ぶりの再会です。大垣出身の彼女は、私が結婚し社宅に住んでいるときによく遊びに来てくれていた。その彼女も私の3年後ぐらいに結婚をし、その後離婚、私も子育てと仕事でバタバタしていた、その時代はケイタイを持っていないわけでもなく、音信不

通になつてしまつていた。社宅には7年近く住んで、家を建て、社宅からすぐ近くに住んでいるのですが、社宅を通る度に私のことを思っていたと話してくれました。その彼女は再婚をし、このスーパーのすぐ近くに家を建てて住んでいると教えてくれた。スーパーが出来て10年、よく来るそうですが、1度も会ったことがなかった。スーパーの通路の隅っこであれもこれもと話が尽きない。仕事に行く時間も気にしながら

らギリギリまで話した。同級生が胃がんでこの前亡くなつたと聞いたときには本当にビックリした。彼女も子宮を全摘出したという。ですので子供もいない。かなり辛い思いをしたことを笑顔で話してくれました。なにも飾らなく話せる学生時代の友、もつともつと話したかつたが、仕事に間に合わなくなつてしまう。お互いケイタイを教えあい、彼女が一言、「朝から本当にいいことが起きた。今日の一番になる。」と再会したことを心から喜んでくれた。もちろん私も嬉しかった。お

互い少しづつ自分の時間が持てるようになってきたからこうして会えたのでしょうか。しかし、こんなに近くにいたのにとも思つた。この日一日心が暖かかった私。23年ぶりに会つて、スーパーでたった15分話したただけなのに。23年の月日は感じなかった。これからはいつでも連絡が取れ、会うことも出来る。もつともつと年を重ねる上で、こんな近くに何でも話せる友が居ると思うととても心強い。こうやって再会できたことと本当に嬉しかった。

川風

しらishi みほ

らんちゃん。
ひやくにち。
お食い初め。
ももかの節句でござ
いまする。
ふええ〜っ。
お料理が大の苦手な
あたしがおうちでお
祝いしようと
きのう決めた。

実は、熊本のみほちゃ
んから
うるさいくらいに言
われてた。
「あんたね、らんちゃ
んの行事はちゃんと
しなっせよ！すごく
大事とバイ！次は百
日、ももかの節句よ！
わかってる！」
未海にたこができる
くらいにうるさい小
姑のように。

りおんの時だつてやっ
たことないし、なに
餅からって踏むや
つか。と思いきや、
それは一才のお誕生
の儀式でした。
百日つてな〜。

ネット調べましょ
う。
いえいえ、ネットの
情報すべて本場で
はないと近頃
らんちゃんの育児で
思い知らせてはい
るのだけれど
やっぱり楽。キーワー
ド入れると すぐに
出てくるんですよ
ね。
ま、やってみましょ
う。

まず お料理です。
煮物つて 書いてあつ

たけど
熊本人間ですから
煮染めでスタイ。
二に、お吸い物。
ハマグリがな〜い。
ま、アサリでご勘
弁を〜。
三に、季節の香のも
の。夏しか。つ
けてないぬか漬け。
買ってきましよう。
四に、お赤飯〜。
ゆうべ 小豆をつけ

人の庭のは とれな
いし
探しました〜。
みちばたというか
やぼくらにありまし
た。
これなら 犬も入り
そうにないから キ
レイです。

めで鯛！
「金目鯛？」つてり
おんが言うから 金
目鯛は赤いつたい！
鯛！鯛よ〜！！
天然物は しっぽが
とがつてるらしく
朝一で ダンナちゃ
んと 新鮮な魚を売っ
ているスーパーで買っ
てきました。

おめでたいときは
腹は切らないそうで
エラから内臓を出し
てもらえました。
ウロコもとつてもら
います。
すごいなあ〜 魚屋
さん！
だからあとは
塩振つて焼くだけ。
超 立派な 天然鯛
ですが
1800円です。

自分でやれば安上が
りですね。
なんか 形になつて
ます。
そうそう！！
すつごくだいじナモ

ておいて朝から 圧
力鍋で煮て
炊飯ジャーで炊きま
した。笑
ジャー 失敗しない
んで！
そうそう！！
鯛！！
目出鯛！！
南天の葉っぱと バ
ランを 盗みに。
いえいえ 道ばたに
探しに。生えてない！！

「歯固めの石」
それを口に運び 食
べさせる真似を3度
くり返すとあります。
なんじゃそりや〜。
石は、神社に撮りに
いくつと。

近所の安産の神様で
有名な宇美八幡に
ダンナちゃんが連れ
てて くれたけど
車の大渋滞。
「みんな 100日
のお祝いたいね〜」
つて 真剣に 言
うダンナちゃん。

いいえ、そんなこと
はないでしょう。
お宮参りをするつて
言うか 石を拾いに
行くだけなんです。
けれど せつかな
んで お宮参り以来
の お参りをいたし
ましよう。

混雑を避け ここも
また あるいみ めつ
ちや混雑だけど
我が家の お膝元、
太宰府天満宮へ。

縁日のお猿さんが
今日も来てましたよ。
らんちゃん始めてお
猿さんとご対面です。
実をのけぞつて見つ

めてます。
「猿とめーあわせせ
たらいかんて」とマ
マにいうと、なんで
つて顔してました。
ちゃんとお参りをし
て お札も買いまし
た。
巫女さんに 歯固め
の石つてどこでもら
えば良いんでしよ
う。
と聞いてみた。
もちろん、くれはし
ない。
ひろうんだけど い
ちお、きいた。

横へよこへの伝言ゲー
ムが続き どつしり
した巫女さんが
「差し上げる場所と
かはないんですが
あの 向こうの角の
大きな木の下の石が
割とキレイなので
みなさん ひろわ
れていきますよ」

やっぱり 有名なこ
となんだ。
行つてみると 石つ
てどこにもないし。
と思うほど みなさ
ん 石を持って帰ら
れたのか
土になつてた。

よく見ると、
物置の 足下に あ
るある！！
ここなら 人が足を
踏み入れやしないな

〜。ふむふむ。
ありがたく頂いた。
その ネットの情報
によるとまた 終わつ
たら戻しにいくんた
そうですよ。
ちゃんと戻せば あ
んなにはなくならな
い。笑。
さあ〜 できあがり
です。
GIも らんちゃん
も りおんも お昼
寝から起きたら
お食い初めの 儀式
を いたしましよ
う。

かいとは 日曜出勤
だったから、おうち
に帰つたら また
同じようにやるとい
いよ。
かいとは お赤飯や
お煮しめも大好き。
りおんと GIとは
ちがいます！

こうして 料亭なの
ではしなくても ゆ
うゆうと
家族でぎゅ〜つとら
んちゃんを抱きしめ
ながら
おごそかに百日目の
儀をとりおこないま
した。
らんちゃん 100
日 おめでとう。

すこ〜し 大きくなつ
たね。



秋のまちゼミ2

原 由里子

秋のまちゼミ、2度目は駅前通にあります「高木時計本舗」で講座は「初めての機械式腕時計」です。

いつも自転車でお店の中を通るだけで、入ったことがないです。お高そうな時計が並んでいて、興味はあったものの入るのに二の足を踏んでいたお店です。

まちゼミに予約したときも、前日お店から確認の電話のときも、「お友達を誘ってきて下さいね。」と念を押されました。

あまり人数が集まらないのかなうと思いましたが、本日は1人で参加するつもりでしたが、姉もちようど休みだとわかり誘いました。

時間が夕方17時30分からです。店内は東西に長い造りになっていて、奥にテーブルと椅子が置いてあり、そこで講座を行うようです。

19時までですが、話をする人はたくさん話したいので、時間が無いらしく、かなりの早口です。なので正直頭に入っていないのですが、理解しようとは必死で聞いていました。

腕時計の歴史として、一五五一年にフランシスコ・ザビエルが大内義隆に機械時計を献上したそうです。

日本に時計が伝来した瞬間です。そこからかなりとんで、一八八一年、明治一四年に服部時計店現在のセイコーが東京で開業します。そこから日本の腕時計の本格的な歴史が、始まっていくということでした。

驚いたのが、世界高峰と想っていたスイス時計を日本の国産メーカーが追い越したことがあることには、ビックリしました。

腕時計に詳しい方はご存知だと思いますが、機械式と水晶式があるそう

です。水晶式は、アナログ・デジタル・複合表示の時計で、電池が使われています。

電池の中に光発電する物もあるので、電池交換不要の時計もあります。

最初、電波時計が出たときは「画期的だな」と「すごいな」と思っていました。今はもっと進んでいて、GPS修正時計というのがあります。

海外によく行く方は、とっても便利な時計で、少しでも空が見えていれば衛星から飛ばして、その国の時間に勝手に修正してくれるそうです。

そしてもう一つの機械式の時計は、手巻きと自動巻があります。

このタイプは、本当に時計好きな人なら必ず持っているし、欲しいと思います。いわゆる、高級時計に多いです。

実際に手巻き式と、自動巻を触らせて頂きましたが、時計のことが全くわからない私でも、手にした瞬間、良さが伝わってきます。

違いは、私が思ったことですが、腕に当たる側だなど思いました。

時計の中が見えるようになっていますが、ものすごく繊細で、あんなに小さい時計の中に最高の技術と職人技、何一つ無駄がない小さな美術館のように一つ一つ部品が美しく存在しています。

魅了される方の気持ちに分かる気がしました。ただ、手巻き式も、自動巻式も正直、めんどくさいです。

手巻きしきは巻かないと止まってしまふのと、巻き方もある程度はまかないといけないけど、巻きすぎは駄目。

自動巻式も、自動でもやっぱり巻かないと駄目だそうです。巻くときも、りゆうずの感触を確かめながらだそうです。

巻くときはゆっくり巻き、時計を直すにもちやんとした直し方があります。

時計が止まっているからと、今の時間に直せば良いではないようです。日付の入った時計が壊れる、一番の原因が、その時計が朝6時で止まっているのに夕方の時間で

直したら日付が合わなくて当然です。

正しい直し方として、日付変更線を超えるように時計の針を巻き、正しい時間にしないといけないと言ふことです。巻き上げのコツとして、毎日同じ時間に巻き上げるようにすると、精度が安定していくとか。手荒な巻き上げは故障の元になります。

あと、時計はとにかく磁器に弱いそうです。銀行や郵便局に社員証などのIDカードも磁器に弱いそうです。

磁気を発する製品として、①携帯電話・スマホ・携帯ラジオ・ノートPCのスピーカー部分

②携帯オーディオ機器③タブレット端末④磁器健康布団、腹巻き、ネックレス枕、肩こり用磁器製品⑤バッグやめがねケースなどのマグネット留め

金・家具のドアのマグネット⑥交流式電気カミソリ
こういう製品の近くに、時計や磁器に弱いものは近づけないことです。ただし、デジタルクォーツ時計には、歯車やローターがないらしく磁器の影響は受けません。

機械式時計の仕組みは、①ゼンマイを巻く(エネルギーの貯蔵)②歯車を通してエネルギーを伝える(伝達)③エネルギーの制御と分配(脱進機による制御と分配)④エネルギーのコントロール(調速機による調整)⑤

輪列が正確に作動して正しく機能を表示する(針や音での表示)だそうです。

何でもそうですが、考えた人はすごいなうと思ってしまう。講座が終わったあとにも、まだまだ話をしたい店長さんに捕まっている姉と、参加された男性。それを横目にその場から退散し、自由に店内に置いてある時計などを見ていました。

姉が「もう帰ってもいいんだよね？」たまたま聞いてきて、店内をあとにしました。

身近にある時計一つとっても、すごい技術が駆使されているんだと、腕にしていた時計を見て、改めて感心しました。

次は、大垣さし源のまちゼミです。何を教えてもらえるか、楽しみです。おわり

「腐ったカラス」

アルバイトさん、助っ人さんを招待し忘年会を開いた。総勢7名。大いに呑んで食べて、一年を振り返って「話す会」なのに、何故か「カニ屋さん」食べるのに忙しくて会話どころではない。。。

一年間いろんなことがあったはずだが、殆ど忘れてる。お庭を作っている途中にご主人と揉めて、お庭を壊して帰ってきたり、若い衆がスズメバチに刺されたり、税務調査が入ったり。。。

一番の出来事は朝道具が置いてある倉庫に強烈な異臭が！ただ事ではないと思い、皆んなで道具を移動させると、腐ったカラスが！

前日シャッターが開いていた隙に、多分猫が持ち込んだのだろう。全員「オエ、オエ」吐きそう。嗅いだことのない匂い。

自分が行くしかないと思ったが、一つ年上の新人さんがマスクをして袋に入れて捨ててくれた！

それにしても、いろんなことがある。それでもドンドン「上書き」していき、なんでもない毎日が過ぎて行く。

皆んなで思い出しては大笑い。結局、おもしろいことしか覚えていないものだ。

庭師 奥田良樹